

攻めて、攻めて、攻めぬいて大激戦を競り勝つぞ 土曜日の昼、はたやま和也候補が札幌中心街で支持を訴え



札幌地下歩行空間を歩いて、有権者に“消費税増税はキッパリ中止させましょう”“安倍政権の暴走をやめさせよう”“比例代表は日本共産党と書いてください”と訴えるはたやま和也比例候補



「比例代表は日本共産党と書いて投票してください」「私を国会で働かせてください」とよびかけるはたやま和也候補

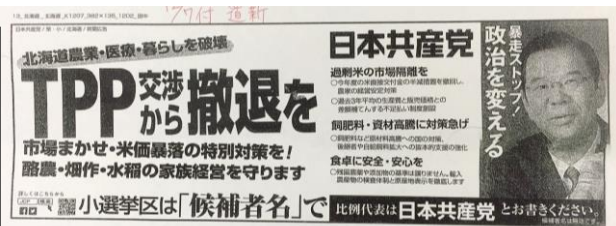
“がんばって! ”、“いれるよ”と声かかる

12月最初の土曜日、氷点下の寒風のもと、はたやま候補は手袋をはかずに札幌駅付近のデパート前でマイクを握った後、地下歩行空間に入り、アナウンサーとともに肉声での訴え。近寄ってきて、「投票するからね」と激励してくれるご夫婦、“再稼働反対”に高校生3人がすぐに「そうだ、そうだ! 」と。

地上に出ても中央区中心街で小形市議とともに演説。マスコミが同行して取材をつづけていました。

「TPP交渉から撤退を」の「道新」掲載の 広告生かし、農業・医療・くらし破壊の許さ ずの声を日本共産党に! と訴えよう

オール北海道でTPP反対の一点で共同してたたかってきた農協、医師会、経済団体のみなさんと対話し、『「TPPから撤退」の道民の声を届けるのは日本共産党です』「日本共産党の躍進に力を」と訴えよう。



7日付「北海道新聞」に掲載された党の広告

「比例は日本共産党とお書きください。候補者名は無効です」を徹底しよう。